

今週のお祈り

聖霊降臨後第8主日(特定11)特祷

恵みと憐れみを賜るとき、殊に全能を現される神よ、豊かな慈しみをわたしたちに与え、あなたが約束されたものを目指して走り、ついに天の宝にあずかる者としてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東日本教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 310

発行日
2026年
7月19日

急に暑くなりましたね。暑さに慣れていないと体調を崩しやすい時期です。水分をよく摂り、早寝早起きをして元気に過ごしましょう。もうすぐ夏休みの皆さん、日曜学校は毎週ありますので、ぜひ教会に来てくださいね!

今週の聖書 マタイによる福音書 13:24-30、36-43

24 イエスは、別のたとえを彼らに示して言われた。「天の国は、良い種を畑に蒔いた人に似ている。25 人々が眠っている間に、敵が来て、麦の中に毒麦を蒔いて行った。26 芽が出て、実を結び、毒麦も現れた。27 僕たちが主人のところに来て言った。『主人様、畑には良い種をお蒔きになったではありませんか。どうして毒麦が生えたのでしょうか。』28 主人は、『敵の仕業だ』と言った。そこで、僕たちが、『では、行って抜き集めておきましょうか』と言うと、29 主人は言った。『いや、毒麦を集めるとき、麦まで一緒に抜くかもしれない。30 刈り入れまで両方とも育つままにしておきなさい。刈り入れの時、『まず毒麦を集め、焼くために束にし、麦のほうは集めて倉に納めなさい』と刈り取る者に言いつけよう。』36 それから、イエスは群衆を後に残して家にお入りになった。すると、弟子たちが御もとに来て、『畑の毒麦のたとえを説明してください』と言った。37 イエスは答えた。『良い種をお蒔きになった。』38 畑は、39 毒麦を蒔いた敵は悪魔、刈り入れは世の終わりのことで、刈り取る者は天使たちで



聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

ある人が畑に良い麦の種をまきました。ところが、知らない間に敵が毒麦もまいてしまいました。それを見た人たちは、「すぐに毒麦を抜きましょう!」と言いました。でも主人は、「毒麦を抜こうとすると、大切な麦まで一緒に抜いて傷つけてしまうかもしれないから、収穫までそのままにしておきなさい」と答えました。

私たちは、「あの子(こ)は悪い」「もう一緒に遊ばない」と思ったり、お友だちを決めつけたり、仲間外れにしたりしてしまうことがあります。でもイエスさまは、「だれが悪いかを決めるのは神さまにおまかせしようね」と教えてくださいます。

だから私たちは、お友だちを悪い子だと決めつけるのではなく、神さまの愛をいっぱい受けながら、みんなを大切に「良い麦」として育てていきましょう。神さまは今日も、一人ひとりを大切に育ててくださいます。

ある。40 毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終わりににもそうなるのだ。41 人の子は天使たちを遣わし、つまずきとなるものをすべてと不法を行う者たちとを御国から集めて、42 燃え盛る炉に投げ入れる。彼らは、そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。43 その時、正しい人々はその父の国で太陽のように輝く。耳のある者は聞きなさい。」